

平成20年第4回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成20年4月8日(火)

午後2時開会

開催日時	平成20年4月8日	開会 2時00分 閉会 2時21分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	委員長 伊東 浄堯 委員長職務 代理者 亙理千鶴子 委員 菊地 邦夫	委員 伊藤 恒子 教育長 向井 一身	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 小林 美都江 生涯学習部長 渡辺 博 庶務課長 淀川 章 学務課長 前島 賢 指導室長 富士道正尋 統括指導主事 加納 一好 指導主事 浜田 真二 指導主事 濱辺 理佐子	生涯学習課長 尾崎 充男 兼生涯学習係長事務取扱 スポーツ振興課長 林 文男 図書館長 田中 肇 公民館長 中嶋 登 庶務課長補佐 内田 泰彦 兼庶務係長	
調 製	庶務課庶務係主任 山内 和子		
傍聴者 人 数	2名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	報 告 事 項	1 平成20年度学級編制について 2 寄附の収受について 3 教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定について 4 小・中学校教育管理職の異動について 5 その他 6 今後の日程について

伊東委員長 平成20年第4回小金井市教育委員会定例会を開会する。
日程第1、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、互理職務代理者と伊藤委員に願います。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

伊東委員長 次、日程第2、報告事項に移る。順次担当の方からご説明をお願いします。

報告事項1、平成20年度学級編制について願います。

前島学務課長 報告事項1、平成20年度学級編制についてをご報告する。お配りしている資料をごらんいただきたい。1枚目であるが、表面は平成20年度学級編制状況を、裏面に私立学校等に入学した新一年生調べというふうなつくりになっている。

まず、表面の平成20年度学級編制状況についてであるが、前年と比較すると、小学校では普通学級で児童数が62名減少している。学級数では3学級減っている。中学校では普通学級で生徒数が45名増えている。学級数では1学級増えているという状況である。1学級の平均児童・生徒数を計算すると、小学校では32.5人である。ちなみに、昨年は33.3人ということであった。中学校では34.3人、ちなみに、昨年は34.1人ということであるので、小学校のほうは若干減って、中学校は微増という形であろうか。

それで、特別支援学級についてであるが、小学校で6名、中学校で2名増えている。学級数の増減はない。小学校の6名であるが、19年度中に2名の増員があったと聞いている。それで、1名卒業されて、20年度は他校の普通学級からの転学が3人、新1年生が2人というふうになっている。

続いて、裏面、私立学校等に入学した新一年生調べをご説明する。

まず初めに、表の中に養護学校等という記載があるが、現在は法律上は養護学校という名称はなくなっており、特別支援学校と記載すべきであったので、訂正とおわびを申し上げる。

20年度では、小学校で54人が国立・私学へ入学している状況である。新1年生の全体の6.7%を占めている状況である。また、

中学校では私学等へ216名入学しており、全体の23.3%を占めている。私立学校等への入学の推移であるが、小学校では17年以降、8.8、7.5、7.1、6.7と、減少傾向である。中学校であるが、17年以降は25.0、27.2、21.7、そして今年度の23.3と、19年度に一時的に減少したものの、20年度ではまた微増しているという状況であろうか。

以上である。

向井教育長 都立中等学校がある。あれはどこのジャンルに入るか。

前島学務課長 これは国立・私立のC欄に入っている。数的には、調査したが、4名の入学が確認されている。

以上である。

伊東委員長 何かあるか。
学級編制の1ページ目のほうであるが、東小学校が46名減というのは、何か思い当たるところとか、何か原因があるか。

前島学務課長 申しわけないが、詳しいことは、はっきりしたことはつかんでいない。

伊東委員長 指導室のほうではいかがか。

富士道 特につかんでいない。
指導室長

伊東委員長 そうであるか。
次にいく。報告事項2、寄附の収受についてお願いします。

前島学務課長 報告事項2の寄附の収受についてであるが、資料をごらんいただきたい。19年度寄附物品の収受一覧となっている。

例年、市民の皆様などからご寄付をいただいたものについて学習活動に活用しているわけであるが、19年度についてはこちらの7件の寄附があった。例年、新入学児童に配布している東京小金井ライオンズクラブ様のランドセルカバー、また東京都トラック協会様

からのご寄附の下敷き、こちらのほうは新入学児童のほうに配布している状況である。詳しい内容がはっきりしなかったが、以下、文学全集、一輪車、南極の石、百科事典、原色日本の美術というふうになっている。

ちなみに、どこの学校へというのは、学校のほうに既に話が持ち込まれているものを、学務課のほうで実際に寄附の処置をさせていただいたので、こういう形になっておるということである。

以上である。

伊東委員長 何かあるか。
 百科事典の9万6,000円とか原色日本の美術5万6,000円というのは新品か。

前島学務課長 新品ではないそうである。ご自分でお持ちになっていたものをご寄附されたというふうに聞いている。

伊東委員長 次にいく。報告事項3、教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定についてお願いします。

加納統括
指導主事 教育課程の届出報告及び小・中学校の年間予定について報告させていただく。

平成20年3月3日から3月19日にかけて市立小・中学校14校の教育課程を受理した。配付した資料であるが、小学校、中学校、特別支援学級の順番になっており、最終ページには全校の学校行事の一覧を添付している。

今年度の教育課程の作成に当たっては、今後の新しい学習指導要領への対応を考慮し、授業時数確保のための一層の工夫をするよう指導した。1単位時間の弾力的運用、学期初めや学期末の学校行事の縮小、午後の授業数のコマ数の増加など、各校で可能な限り工夫を取り入れている。また、平成20年度の重点として、特別支援教育の推進、体験活動の充実、理数教育の充実について、具体的な取り組みの位置づけを図るよう事前に各学校に指導してまいった。各学校とも実態や実情に応じて教育課程に反映している。今年度も市立小・中学校においては特色ある教育活動が展開され、地域に開かれた安全な学校づくりを目指し、教育の充実が図られてまいる。

教育委員会としても、教務主任研修会等で各学校の授業時数の確保や新学習指導要領への対応について、情報交換及び協議を行っている。

以上である。

伊東委員長 何かあるか。

伊藤委員 先ほどの学級編制にもかかわるかと思うが、通級学級の現状というのか、この教育課程にもかかわっていかがになっているか。

富士道
指導室長 それは通級の児童・生徒の在籍の数であるか。

伊藤委員 新しく通級学級が出発した。それについて入級後、教育課程はできると思うが、そのあたりの様子をお知らせいただきたい。

浜田指導主事 通級指導学級の児童・生徒の場合は、在籍校の教育課程に準じて行う。ただし、通級している時間について特別な教育課程で行うということで、それについては個々に応じて、ソーシャルスキルだとか障害に応じた指導を個別にやっていくので、その部分について通級指導学級の担任の先生等と話し合い、個別指導計画に基づき、その部分だけ特別に作成するということになる。したがって、通級指導学級の学校としての教育課程というのは、特別にはないということになる。よろしいか。

伊藤委員 わかった。どうなっているのかということを知りたかったので、ここに通級学級のことが一言もなかったので、尋ねさせていただいた。

伊東委員長 ほかにあるか。
次、報告事項4、小・中学校教育管理職の異動についてお願いします。

富士道
指導室長 報告事項4資料をごらんいただきたい。
平成20年度小金井市立学校の校長・副校長の異動であるが、ま

ず、小学校については、定年退職、また、勸奨退職で2名の校長が退職をした。また、転出の校長1名、また副校長で1名ということである。それにかわり、小学校の校長では、第四小学校の渡辺校長、そして東小学校には中川校長、そして前原小学校には緑小学校からの木村校長、本町小学校の山川校長については再任用である。そして、緑小学校については第四小学校の田尻校長が配置された。

なお、小学校の副校長については、緑小学校が真壁副校長、三鷹市立第七小学校からの転任である。そして、南小学校の副校長については、立川市教育委員会指導主事から浅野副校長が昇任した。

中学校については、定年退職が1名あった。なお、転出が1名あり、緑中学校には吉田哲三、昭島の拝島中学校副校長から昇任である。南中学校については、緑中学校の校長であった伊東校長が転任をした。

なお、東中学校の副校長については、都立立川国際中等教育学校主幹の刀根が昇任した。

以上である。

伊東委員長

よろしいか。

報告事項5、その他、あるか。

淀川庶務課長

第二小学校の校庭芝生化の進捗状況についてご報告する。

平成20年3月をもって芝生整備工事の設計が完了した。今後の予定であるが、4月に芝生管理組織の設立のための説明会、保護者へ校庭芝生化についてのお知らせの配布、芝生管理組織の設立に向けての準備会の設立を考えている。6月下旬に芝生整備工事に着手し、8月に芝生管理組織設立、9月上旬に芝生の基本工事完了、9月中旬に芝生開きを予定している。

図面をごらんいただきたいと思う。雰囲気をつかみやすくするために、サッカーゴール、遊具などの写真を図面に落としている。管理用通路に囲まれた中心部分については、業者がロール芝を張り、外側に4カ所あるところについては、子どもたちにポット苗を植えてもらって、芝生とともに思いやりのある心を育てていただければというふうに考えている。

以上、報告である。

伊東委員長 すまない。もう一度その手順みたいところ、最後の芝生開きまでもう一回言っていただけるか。

淀川庶務課長 芝生開きまでの予定か。

伊東委員長 はい。

淀川庶務課長 4月に、芝生の管理組織の準備に向けていろいろ説明会であるとか、準備会を設立する旨を考えている。あと、保護者へ、校庭芝生化についてのお知らせということで、6月から工事に入るの、その辺のお知らせを配りたいというふうに考えている。6月下旬に工事に着手し、芝生自体の工事の完了は9月上旬を予定している。9月中旬に芝生開きというふうに考えている。

伊東委員長 この芝生はどのような工法でやるのか。

淀川庶務課長 ビッグロールという巻いた芝生を機械で張っていく工法でやりたい。

伊東委員長 表土を削って。

淀川庶務課長 そうである。落ちつかせる雰囲気。ただ、小平を見てきたときは、そのまま乗せてしまっている感じだったが、ちょっとその辺を確認していないので、確認をしていきたいと思う。あと、四隅にある4カ所については、小平に行ったときに、子どもたちがスコップで穴をあけるように、1苗1苗手で植えていく感じでなかなかいい雰囲気で行っていたので、小金井でも同じような形で子どもたちに芝生を植えるところから参加してもらい、それを育てていくということで、子どもたちがひとつになって植物を思いやるという気持ちも一緒に生まれてくればというふうに思っている。

菊地委員 実際に使えるのは9月ごろか。

淀川庶務課長 芝生開きのときには一応は落ちついた感じで、そんなに派手にやらなければ普通に遊ぶ分には大丈夫だと思う。

伊東委員長 そんなに派手にやらなければというのは、多少気にかかる言葉で。

淀川庶務課長 例えば綱引きみたいなものであるとか、いきなり、落ちつく前に乱暴にしすぎると良くない、落ちついても綱引き自体は余りよくないとは聞いている。

伊東委員長 たまたま先日、二小でサッカーをやっているお母さんから、その間サッカーができなくなるんじゃないかというような話もあった。

淀川庶務課長 ただ、芝生が張りあがると、子どもたちもサッカーで転んでもあまりけがもしなくなるだろうし、思い切ってできるのかなというふうには。

伊東委員長 ほかに、その他であるか。
報告事項6、今後の日程についてお願いします。

内田庶務
課長補佐 お手元の資料の巻末をごらんいただきたい。教育委員会の今後の日程についてご報告する。

4月10日午後2時から、東京都教育施策連絡会が都庁大会議室で開催予定である。全委員の出席をお願いします。同日午後6時より、教育委員会歓送迎会を萌え木ホールで開催予定である。全委員のご出席をお願いします。続いて、4月24日午後2時より、東京都市町村教育委員会連合会第1回理事会が東京自治会館で開催される。委員長のご出席をお願いします。続いて、5月13日午後1時30分より、平成20年第5回教育委員会を801会議室で開会予定である。5月16日午後1時より、関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会が、山梨県民文化ホールで開催予定である。全委員のご出席をお願いします。5月21日午後2時より、東京都市町村教育委員会連合会総会が東京自治会館で開催予定である。全委員のご出席をお願いします。5月27日午後1時30分より、平成20年第6回教育委員会を801会議室で開催予定である。7月8日午後1時30分より、平成20年第7回教育委員会を801会議室で開会予定である。

本日までの教育委員会の今後の日程については、以上である。

伊東委員長

わかった。いいか。

報告事項は終わった。

本日の審議はすべて終了した。

これをもって、平成20年第4回教育委員会定例会を閉会する。
お疲れであった。

閉会 午後2時21分